ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-26] 東京23区における都市集積と気温

*三河 直斗[1]、藤澤 美恵子[2]、河端 瑞貴[1] (1. 慶應義塾大学、2. 金沢大学)

キーワード：ヒートアイランド現象、気温、都市集積、パネルデータ分析

都市化の進展が気温上昇を引き起こす現象は、ヒートアイランド現象として広く知られている。本研究では、気温と都市構造に関するパネルデータを用い、都市集積が都市部の気温に与える影響を検証する。本研究の貢献は2点ある。第1に、都市の空間構造に着目し、建物の高さおよび建物密度を指標として用いた点である。第2に、最高気温・最低気温・平均気温・日較差の４種類の気温データを活用し、気温変動を詳細に捉えた点である。分析対象は東京都23区であり、2016年および2021年の8〜9月の1kmメッシュデータを用いて季節的な気温変化を分析した。分析の結果、①建物の高さが大きいほど最低気温および平均気温が上昇する、② 建蔽率が高いほど最低気温および平均気温が低下する、③建物の高さが大きいほど日較差が縮小することが明らかとなった。これらの結果は、高層建築物が夜間気温および平均気温の上昇に寄与する一方で、日内の気温変動を抑制する可能性を示唆している。

©一般社団法人地理情報システム学会